

# 地球は僕らの遊び場だ。 さあ、次は、どこで遊ぼうか？

地の果てから、近所の温泉まで。  
大都会でのパレードから、大自然でのキャンプまで。  
楽園、秘境、絶景、神秘、刺激、至福、冒険、驚異、ロマン…  
癒しも、痛みも、無人島も、砂漠も、平和も、出家も、エロも、ナウシカも…

難しいことは何もない。  
ただ、自分の心に搭載した、わくわくセンサーに従って、世界へ飛び出そう。  
旅をすればするほど、出逢いは広がり、視野は広がっていく。

たった一度の人生。  
好きなことやらないで、何やんだよ。

旅を続けよう。



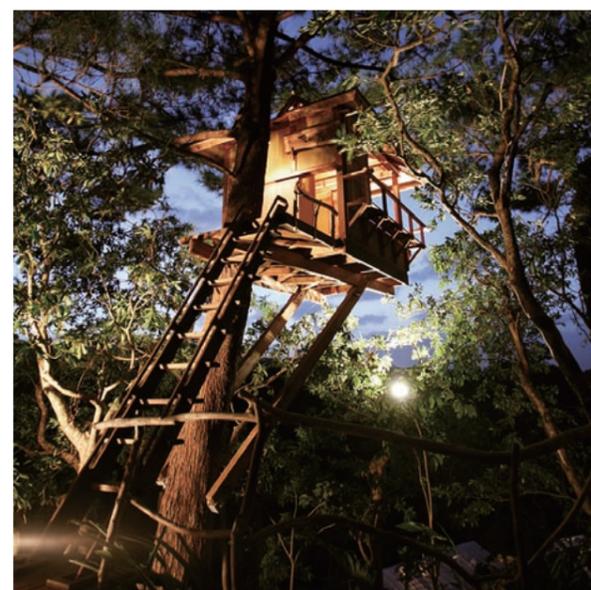


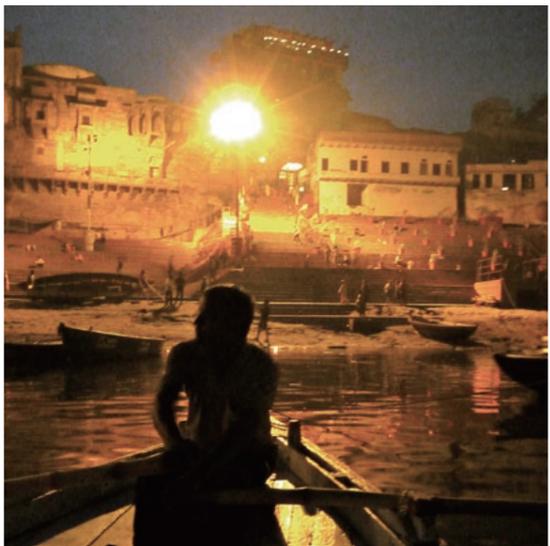
地球ギャラリー vol.81

さあ、旅が始まった。  
いつものとおり、計画は何もない。  
俺が旅に求めることは、ただひとつ。  
ただ、自分をぶっ壊してみたいだけだ。



居心地のいい日常を離れ、  
ぐちゃぐちゃの流れの中に身を置きながら、  
自分の中に眠っている、新しい扉をガンガンノックしてみたい。  
さあ、今回は、どこに流れていくんだろう？  
その好奇心だけが、俺を突き動かしていく。





旅先で、だんだんと、土地の空気みたいなものに溶けてくると、日本の普段の生活で、知らぬ間に創ってしまっている膜みたいなものが溶けてなくなってくる。

作家として、プロデューサーとして、社長として：：  
父親として、夫として：

そういうものすべてが薄らいできて、ただ、ひとりの「オレ」になっていく。そして、自分という生物が、むき出しになってきたな、と感じた頃から。もう一度、オレの真ん中にある核だけが、くっきりと浮かび上がってくる。

オレは、旅というものに、そんなに多くのことを求めている。旅が人生を変えるとか、旅でなにかを見つけるとか、大げさに考えたこともない。ただ、この、漂うような感覚が好きなんだな、きっと。



地球は広い。人生は短い。

遊ばざるもの、働くべからず。

地球は僕らの遊び場だ。

さあ、次は、どこで遊ぼうか？

高橋歩 Takahashi Ayumu

作家、カフェバー経営、出版社経営、世界一周、自給自足ビレッジ主宰など、世界中、様々な分野で活動する自由人。著作の累計部数は200万部を超え、英語圏諸国、韓国、台湾など、海外でも広く出版されている。



おにぎりのようなこの料理。実はマレーシアの国民食「ナシレマ」だ



大使館で開かれたミャンマー便には安倍晋三首相夫人の昭恵氏も



イラン大使館で開かれたLunch Trip。普段は遠いと思っている国が、たちまち近くなる



## 「Lunch Trip」で世界を好きになる

いろんな国に興味はあるけれど、自分で行くには場所も時間も限られている。ならば、たった2時間半で行ける世界直行便はどうだろう。

「Lunch Trip (ランチトリップ)」は、ランチを通して世界のさまざまな国の文化を知るイベントだ。おいしい食事を楽しみながら、その国をよく知る人に国の事情を聞き、ワークショップを通して理解を深める。日本という「外の世界、から見た美しいイメージ」だけではなく、現地出身者や滞在したことのある参加者を通じて、その国のありのままの姿を知ることができるのも魅力だ。

Lunch Tripの創設者の一人、松澤亜美さんは、「アメリカ留学中、近所でターバンを

巻いていたシーク教徒の男性が、「アメリカの敵であるイスラム教徒だ」と決めつけられて殺害される事件がありました。イスラム教徒だからといってアメリカの敵ではないし、そもそも亡くなった方はイスラム教徒ですらなかった。異文化を知らないことが生んだ悲劇でした」と振り返る。その時に抱いた疑問と、留学中に友人たちと語り合うために開いた手巻き寿司パーティーの思い出を組み合わせ、食を通じて楽しみながら外国を知る旅というアイデアが生まれた。

たった数時間のランチが、大きな旅立ちのきっかけになることもある。「今まで知らなかった国が、とても身近で気になる国のひとつになりました」と語る中村千夏さん。

Lunch Tripへの参加がきっかけで、青年海外協力隊に応募し、今年の秋からザンビアに派遣される。世界のさまざまな問題について、自分にもできることはないかと考えるようにもなったという。

Lunch Tripでこれまでに旅した国は55カ国。旅の舞台はレストランや各国大使館などが中心だ。開催地は東京(月1回)や大阪(2カ月に1回)が多いが、静岡や福岡などの地方都市でも開催されている。今後の開催予定は、ホームページやFacebookページ、ブログなどで確認できる。

ほんの数時間で行ける身近な異文化体験ツアー。気軽に「搭乗、してみたいかが」だろう。



「旅先、の話聞くのはもちろん、自分たちで理解を深められることが醍醐味



旅と食という楽しみを異文化理解のきっかけに



### Lunch Trip

Facebookページ :

<https://www.facebook.com/lunchtrip>

ホームページ : <http://www.lunch-trip.com/>